

基本情報

科目分類	専門科目	開講年次	2・3・4年
時間割コード	1H090	開講区分	第1クォーター
開講科目名	E S D演習I 1 (国際人間科学)	曜日・時限	金5
主担当教員	松岡 広路	単位数	1.0
授業形態	演習	ナンバリングコード	H1HZ202

[担当教員一覧](#)**詳細情報**

<p>■ 授業のテーマ</p> <p>(ESDコース修了認定科目)</p> <p>ESDとは、あらゆる人が互いに連携・協働しながら持続可能な開発を実現する主体になるような仕組み（場・装置・活動）のことです。 ESDコースでは、さまざまな社会セクターのなかでESDが立ち現れる仕掛けを作っていく「新しいタイプのリーダー」を育成します。</p>
<p>■ 授業の到達目標</p> <p>ESD演習（国際人間科学）では、ESDがたち現れる仕掛けに、より丁寧にふれながら、あるいは、実際に仕掛けをつくりながら、活動に積極的に参加したり、実践をデザインしながら学ぶことの楽しさを知ってもらいます。</p> <p>ESDコースの他の科目とともに履修してもらうことで、ESDが立ち現れる仕掛けをつくる実践者（practitioner）としての「構え」（ESDに必要な価値・態度・技術）を、いったん身につけることを目的としています。</p>
<p>■ 授業の概要と計画</p> <p>今年度は、アクションリサーチのデザイン・マネイジメント・実施・評価の一連の流れを、みずから創り出していきます。詳しくはBEEFにアップしますが、概ね以下のような流れです。</p> <p>【授業の進め方（予定）】</p> <p>1回 ガイダンス 導入ワークショップ 2回 アクションリサーチとは1 3回 アクションリサーチとは2 4回 アクション創成ワークショップ1 5回 アクション創成ワークショップ2 6回 アクション創成ワークショップ3 7回 リフレクションワークショップ1 8回 リフレクションワークショップ2</p> <p>※上述の内容は、状況に応じて変更する可能性があります。</p>
<p>■ 成績評価方法</p> <p>出席、授業への主体的な参加、レポートなど総合的に判断します。</p>

■成績評価基準

成績は90点以上をS（秀），80点以上90点未満をA（優），70点以上80点未満をB（良），60点以上70点未満をC（可）とする。

■履修上の注意（関連科目情報）

ESD演習 I -1・2、II -1・2（国際人間科学）を連続履修すること。

また、ESDコースの他の科目（ESD基礎A、ESDボランティア論、ESD論A/B、ESD生涯学習論A/B）のうち、4単位を習得しておくことが望ましい。

■事前・事後学修

授業中に指示します。

本学では1単位あたりの学修時間を45時間としています。毎回の授業にあわせて事前学修・事後学修を行ってください。

■学生へのメッセージ

協働的にデザインしていくアクションリサーチの面白さを体感してください。

■教科書

特に指定しません。

■参考書・参考資料等

授業中に指示をします。

■授業における使用言語

日本語

■キーワード

持続可能な開発 アクションリサーチ 環境教育 ワークショップ

■参考URL

<https://esdplat.wixsite.com/will>

<http://www.office.kobe-u.ac.jp/stdnt-kymsys/student/yellow/esd/index.html>

担当教員一覧

教員	所属
松岡 広路	人間発達環境学研究科
清野 未恵子	人間発達環境学研究科